

セツ塚ファーマーズセンター
 開設一周年記念イベント2
 暮らしと行政「総合市民相談」を
 開催4
 リレー・フォー・ライフ・ジャパン
 2013日野開催8
 日野市ミニバス
 バス停増設・移設します8



天皇皇后両陛下下行幸啓

第68回 国民体育大会 ボクシング競技を御覧

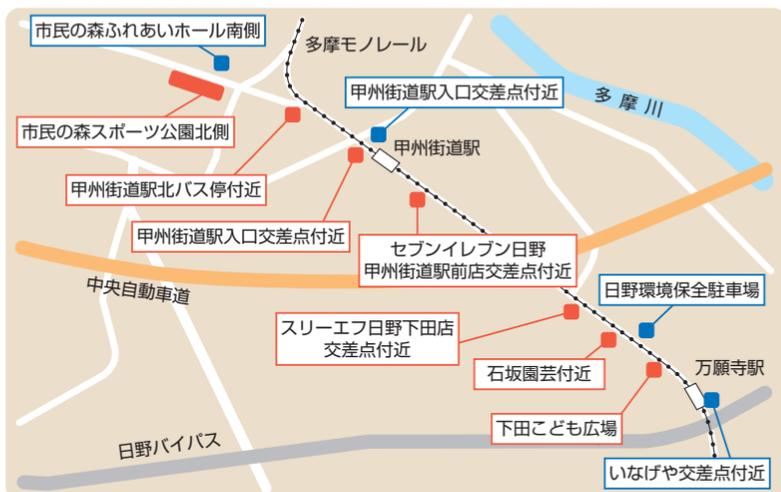
10月7日(月)、天皇皇后両陛下が、第68回国民体育大会ボクシング競技会場である市民の森ふれあいホールにご来場され、午前11時から始まるボクシング競技を40分程度御覧になられます。

当日の午前中、競技会場には大会関係者以外入場できません(入場規制の解除は正午過ぎを予定)。市民の方には、奉送迎の場所を設け、日章旗の小旗を配布します。早めにお出迎えやお見送り場所にお集まりください(右地図参照)。

なお当日、会場周辺では交通規制が行われます。ご協力をお願いします。

問 国体推進室

■一般奉送迎場所 (赤枠はお出迎え、青枠はお見送り場所)



新庁舎の概要

住所 神明2-14-3
 建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階、地上4階
 面積 建築面積1,086.61㎡、延べ面積3,911.16㎡
 消防職員 176人
 消防自動車 22台

都民相談室(2階)
 消防に関する相談を個別に受けるためのスペースを設けています。

防火水槽(地下)
 万一の震災などに備えて、床下に100トンの防火水槽が設置されています。

主な施設を紹介！新耐震により防災拠点としての機能がさらに向上しています。

職員待機宿舎(3階)
 災害などの非常時に迅速に対応するため、職員用待機宿舎を設けています。

太陽光発電設備(屋上)
 1日最大20キロワットの発電量があり、昼間の室内照明などの電力をまかなっています。

地域を守る防災拠点として日野消防署新庁舎が完成しました。広報今号では、新しい日野消防署の概要をご紹介します。

都民防災教室(2階)・体育訓練室(地下)
 救命講習や防火防災行事などを行うスペースを設けています。

日野消防署 新庁舎が完成

地域を守る防災拠点

「いのち」を大切に!! 集おう
 日野市長 大坪 冬彦
 リレー・フォー・ライフは、1985年にアメリカ合衆国ワシントン州シアトル郊外で、マラソンが得意な一人の医師の行為がきっかけとして生まれました。彼は対がん協会の活動資金を集めようとして24時間夜通しで大学のトラックを走りました。彼の友人たちは医師が1週回る度に25ドルを寄付したそうです。その後、がん患者とその支援者たちが仲間をチームを組み夜通し交代で歩くスタイルが定着し、アメリカ全土へ広がりました。その流れは国外へも向かい、日本を含む20カ国で、がん闘病中の方を支援するチャリティイベントとして広がりました。日本では2006年に茨城県つくば市で初めて開催され、毎年開催場所が増え、今年も全国40カ所以上で開催されるそうです。リレー・フォー・ライフの使命は「Save Lives」。そして3つの基本方針があります。一つ目は、楽しむ。患者・家族をはじめ参加者全員が楽しみ勇気づけられること。二つ目に、啓発。生活改善を呼びかけ、がんに対する正しい知識を普及し、社会全体でがん征圧活動に取り組むこと。三つ目に、募金。がん征圧のための資金を集めること。日野市では昨年続いて2回目のリレー・フォー・ライフが10月13日(日)・14日(祝)に仲田小学校で開催されます。ぜひとも多くの方々のご参加をお待ちしております。今年のテーマは「いのち」を大切に!! 集おうです。皆さまどうかよろしくお願いたします。